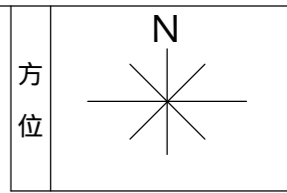


一般用給水工事 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号	①
		指定業者	② 上水道設備(株)
水栓 共用管 給水引込	③	番号	12345
主任技術者	④		上水道 太郎
縮尺	⑤	1:	
図番	⑥		1/1
工事場所	⑦		和泉市 町五丁目4番11号

管の色分け

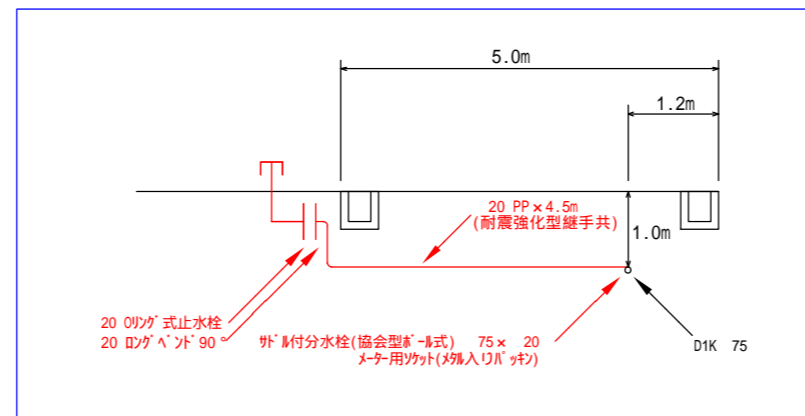
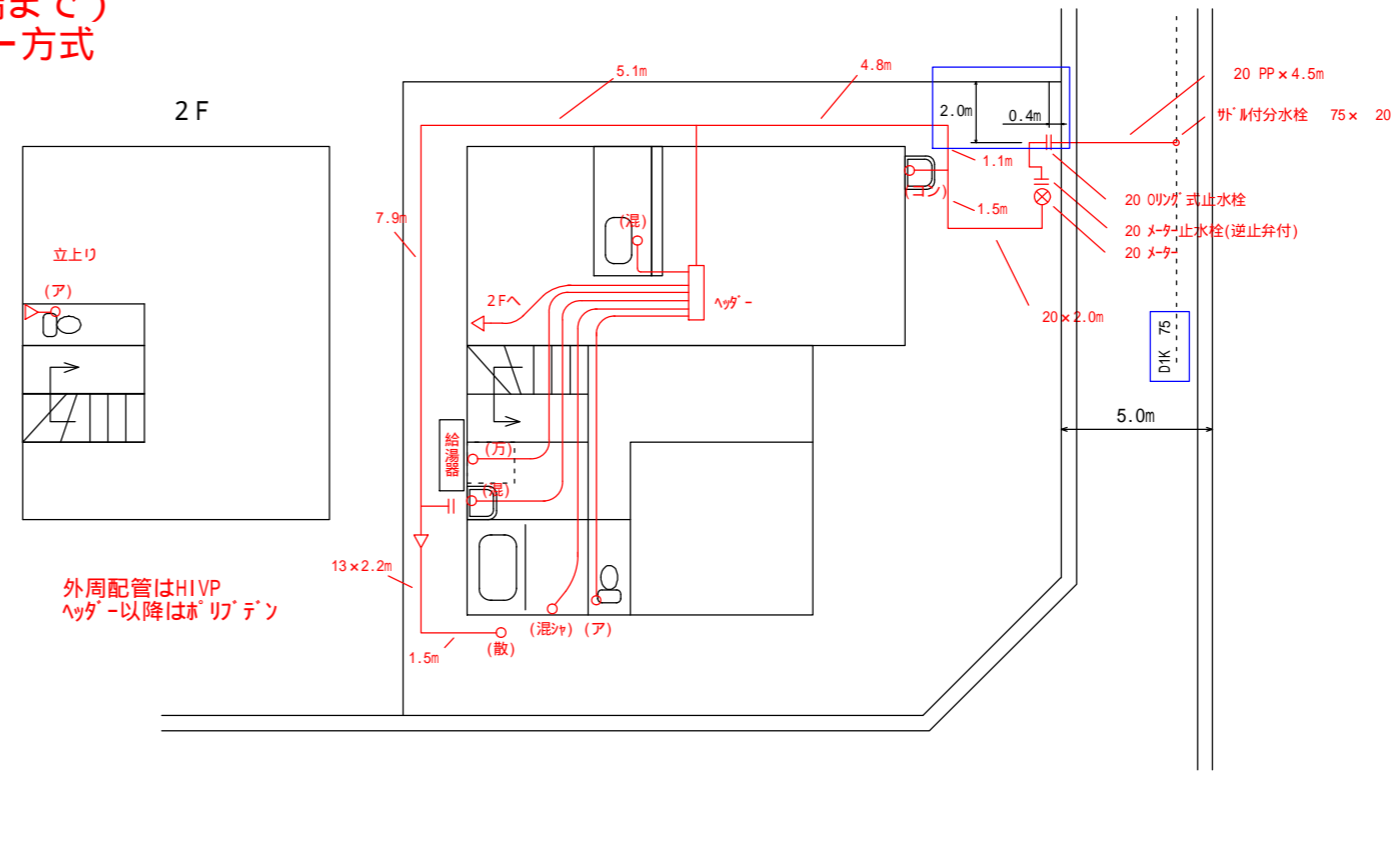
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - -
貯水槽以下	緑	———



主要使用材料		
名称	⑧ 寸法	数量
サドル分水栓(協会型ボール式)	75 x 20	1
ポリエチレン二層管 (耐震強化型継手共)	20	4.5
ロングバンド90°	20	1
Oリング止水栓	20	1
止水栓ボックス	H=400	1
HIVP	20	27.6
"	13	11.3
メーター用ソケット	20	1
メーターボックス	20	1
メーターボックス底板		1
メーター止水栓(逆止弁付)	20	1
エラスジョイント	20	1
ライトエルボ	20	2
ポリブデン管	13	38.9
ヘッダー		1
万能水栓	13	1
混合水栓	13	2
シャワー水栓	13	1
アングル型止水栓	13	2
水栓コンセント	13	1
コン柱	13 x 900	1
明示ピン		1

(配水管分岐から給水装置末端まで)
さや管ヘッダー方式

- ① 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ② 縮尺を記入
- ③ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ④ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ⑤ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ⑥ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ⑦ 工事場所の住所又は地番を記入
- ⑧ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要)



記入漏れや間違いやすい項目
第一止水栓のオフセット
間取り(文字)を記入しない
道路の記入(特に角地)
配水本管の管種管径
給水の引込の場合は断面図記入
立面図は記入不要

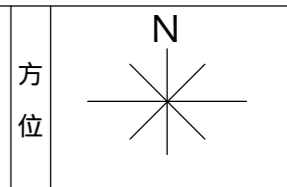
止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm以上確保すること。
ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。

一般用給水工事（臨時用給水からの改造） <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉑
水栓 共用管 番号 ㉒	12345	指定業者 ㉓ 上水道設備(株)
給水引込 縮尺 ㉔ 1:	図番 ㉕ 1/1	主任技術者 ㉖ 上水道 太郎
		工事場所 ㉗ 和泉市 町五丁目4番11号

管の色分け

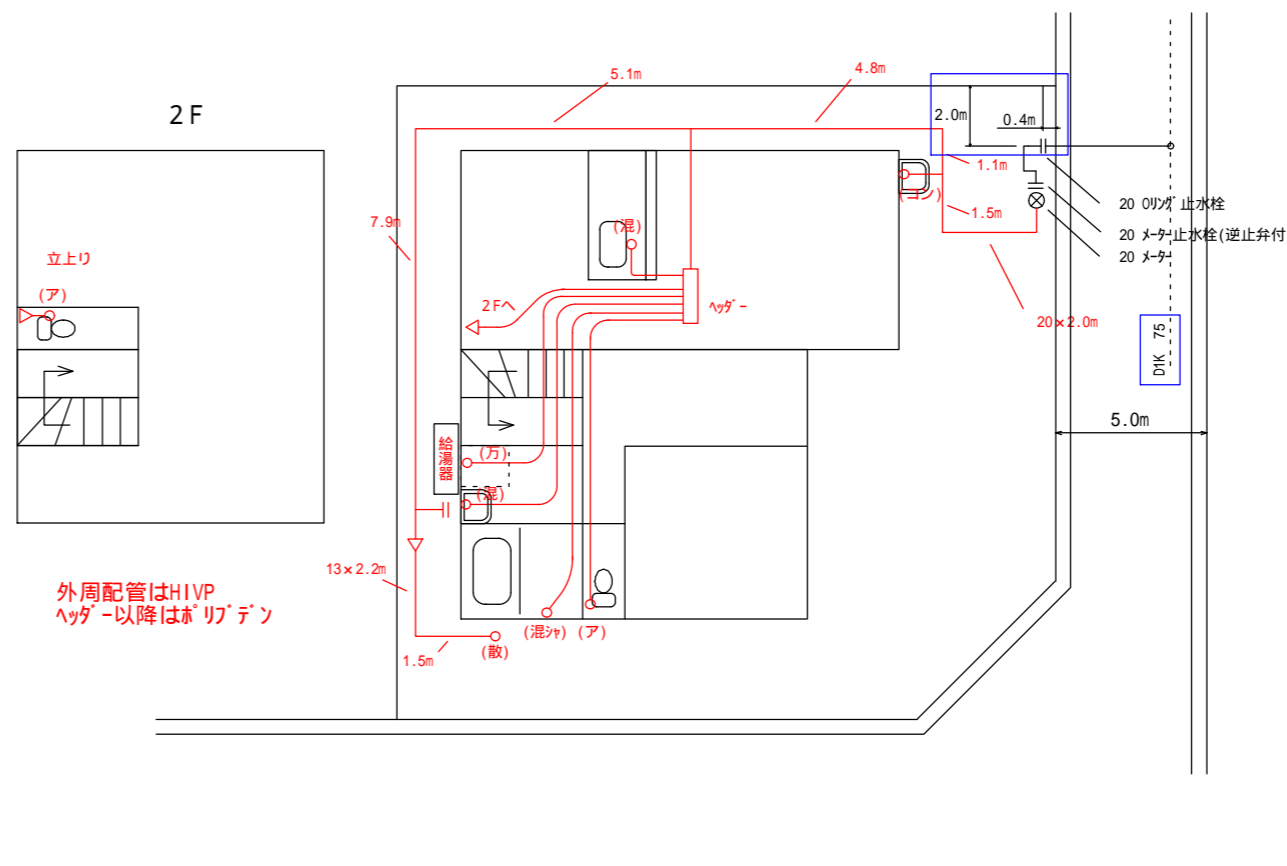
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - - -
貯水槽以下	緑	———



主要使用材料		
名称 ㉘	寸法	数量
HIVP	20	27.0
"	13	11.3
HIVPソケット	20 x 13	1
ポリブデン管 ヘッダー	13	38.9 1
万能水栓	13	1
混合水栓	13	2
シャワー水栓	13	1
アングル型止水栓	13	2
水栓コンセント	13	1
コン柱	13 x 900	1

(メーター2次側から給水装置末端まで)
さや管ヘッダー方式

- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉓ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉔ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉕ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉖ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の住所又は地番を記入
- ㉘ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要)



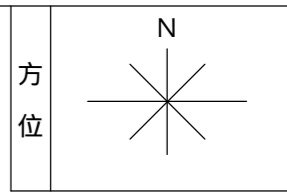
記入漏れや間違いやすい項目
 第一止水栓のオフセット
 間取り(文字)を記入しない
 道路の記入(特に角地)
 配水本管の管種管径
 立面図は記入不要

給水管引込工事 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉓
		指定業者 ㉔ 上水道設備㈱
水栓 共用管 番号 ㉕ 9876	縮尺 ㉖ 1:	主任技術者 ㉗ 上水道 太郎
給水引込		工事場所 ㉘ 和泉市 町五丁目4番11号
図番 ㉙ 1/1		

管の色分け

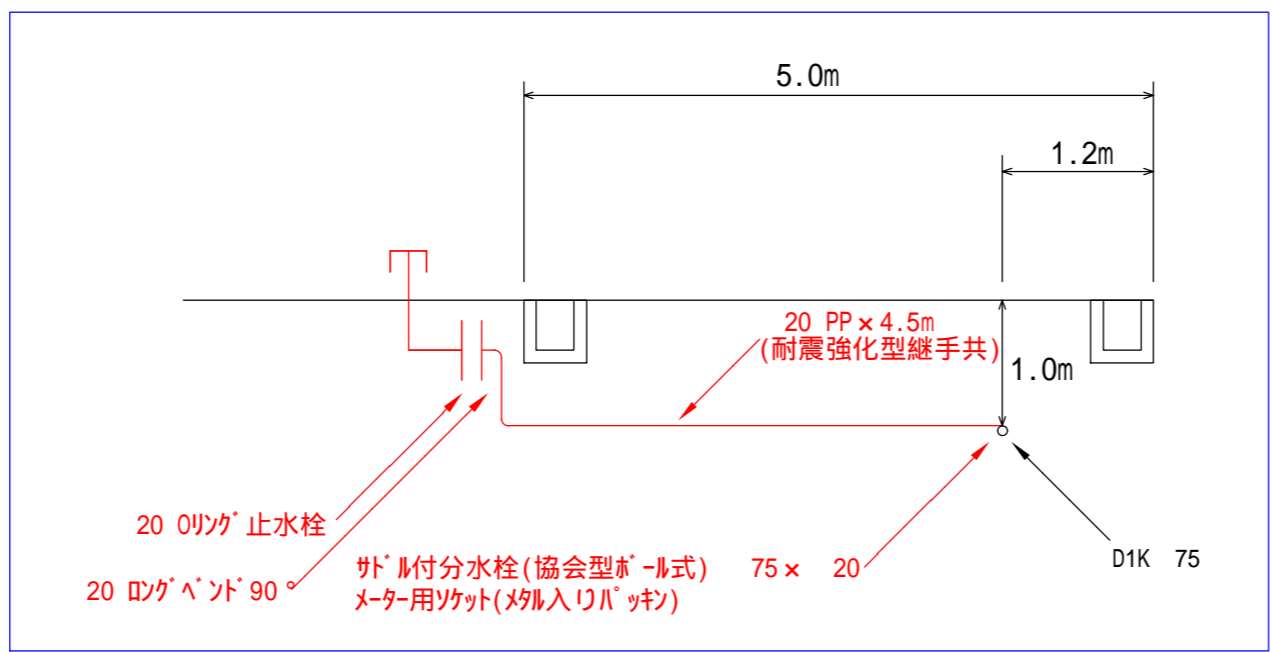
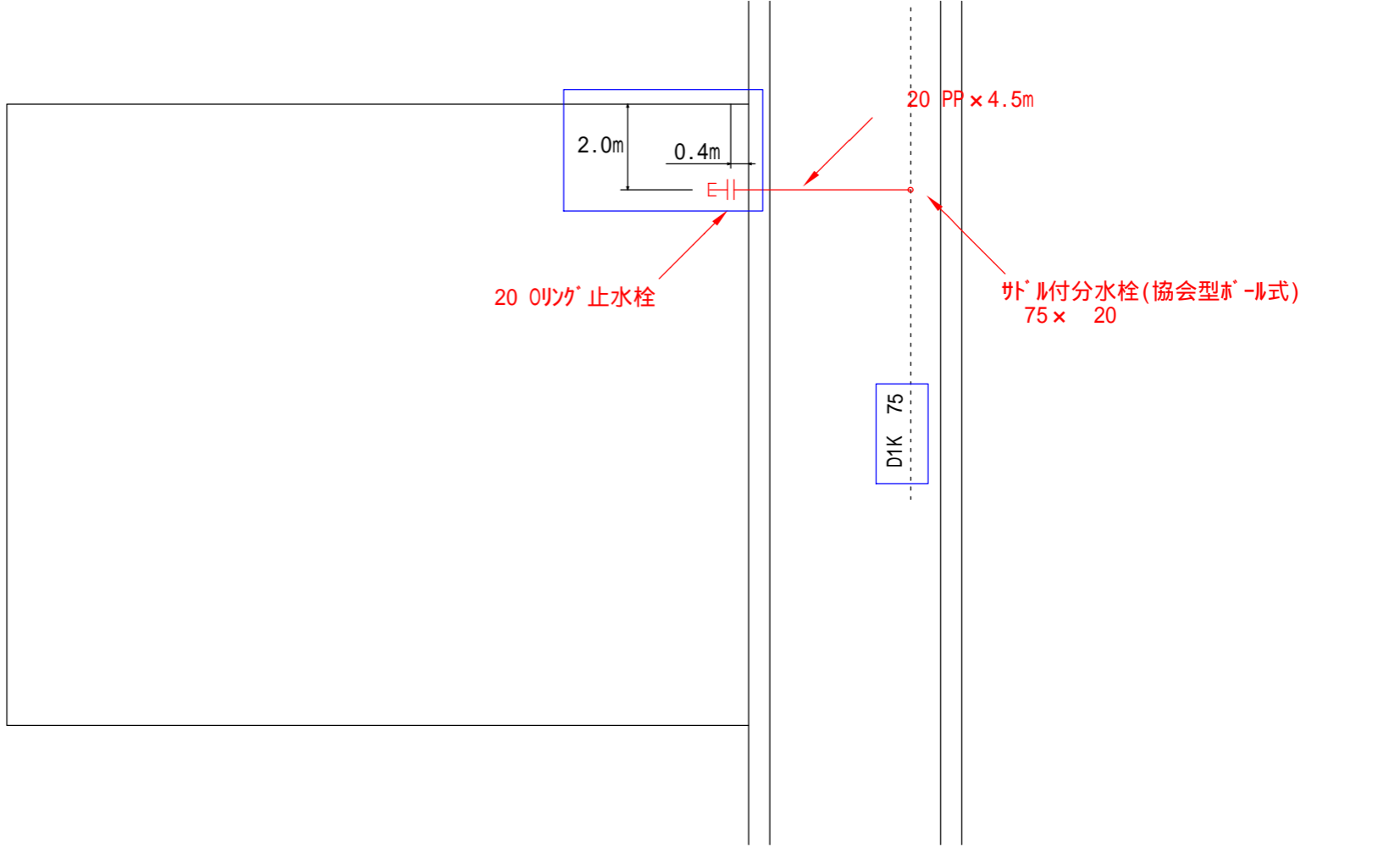
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - -
貯水槽以下	緑	———



主要使用材料		
名称 ㉚	寸法	数量
サドル分水栓(協会型ボール式)	75 x 20	1
ポリエチレン二層管(耐震強化型継手共)	20	4.5
ロングバンド90°	20	1
Oリング止水栓	20	1
止水栓ボックス	H=400	1
HIVP	20	0.5
HIVPエルボ	20	1
HIVPキャップ	20	1
明示杭		1
明示ピン		1

(配水管分岐から第一止水栓まで)

- ㉓ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉔ 縮尺を記入
- ㉕ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉖ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉗ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉘ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉙ 工事場所の住所又は地番を記入
- ㉚ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要)



記入漏れや間違いやすい項目
 第一止水栓のオフセット
 道路の記入(特に角地)
 配水本管の管種管径
 給水の引込の場合は断面図記入

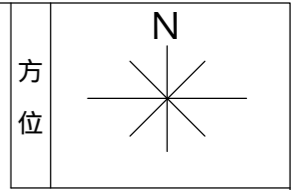
止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
 既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
 公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm以上確保すること。
 ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
 ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
 引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。

臨時用給水工事 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)	部屋(宅地)番号 ①	
	指定業者 ② 上水道設備㈱	
	主任技術者 ③ 上水道 太郎	
	工事場所 ④ 和泉市 町五丁目4番11号	
水栓共用管番号 ⑤ 12345	縮尺 ⑥ 1:	図番 ⑦ 1/1

管の色分け

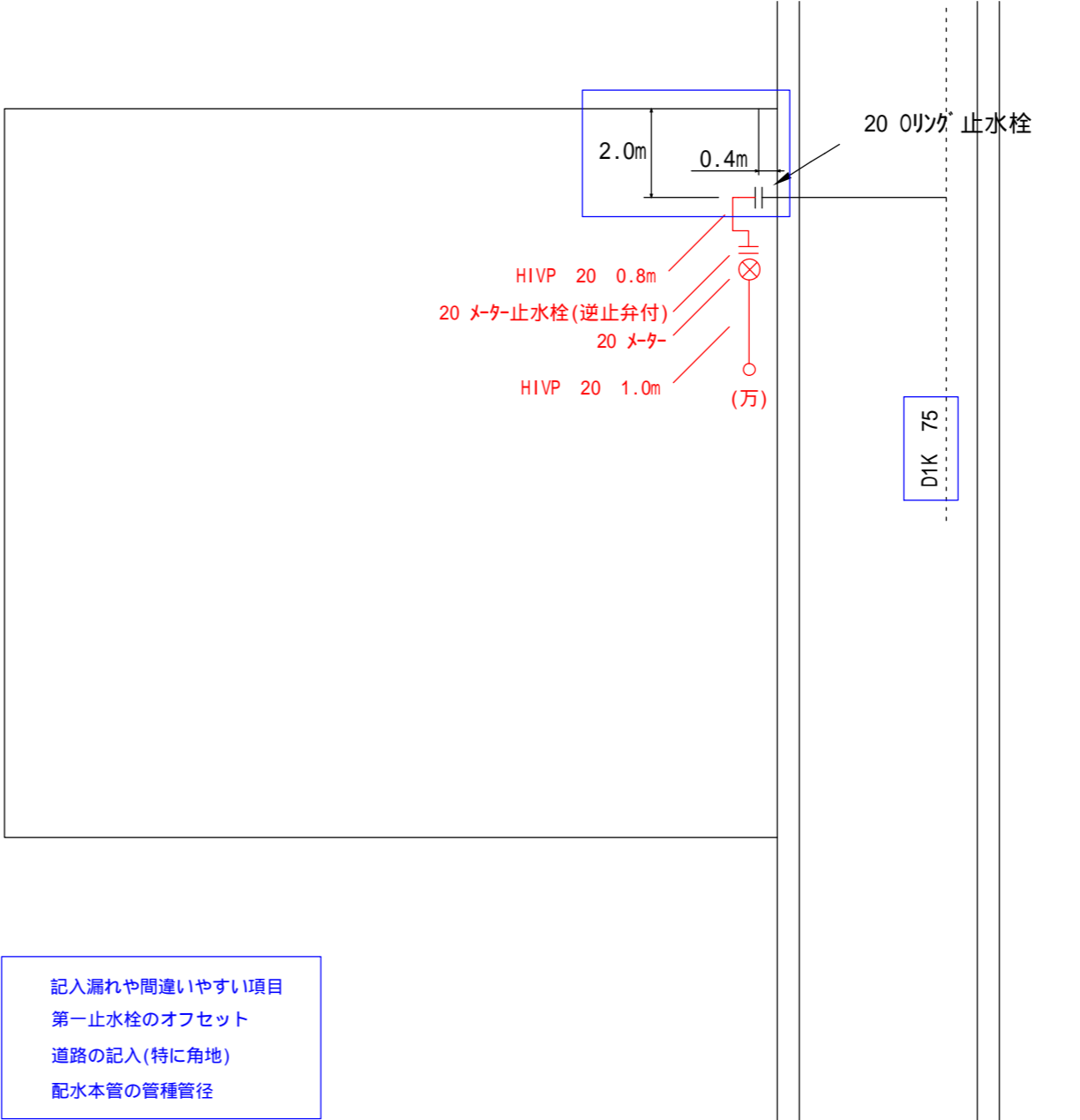
名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	
既設給水管	黒(実線)	
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	
既設配水管	黒(破線)	
貯水槽以下	緑	



(第1止水栓から給水装置末端まで)

主要使用材料		
名称 ⑧	寸法	数量
HIVP	20	1.0
メーターボックス	20	1
メーターボックス底板		1
メーター止水栓(逆止弁付)	20	1
エラスジョイント	20	1
ライトエルボ	20	2
万能水栓	13	1
メーター用ソケット	20	1

- ① 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ② 縮尺を記入
- ③ 図面番号を記入
(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ④ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ⑤ 指定給水装置工事事業者名を記入
(代表者などは記入しないこと)
- ⑥ 選定の給水装置工事主任技術者を記入
- ⑦ 工事場所の住所又は地番を記入
- ⑧ 使用材料を記入
メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要



記入漏れや間違いやすい項目
 第一止水栓のオフセット
 道路の記入(特に角地)
 配水本管の管種管径

臨時用の申請であってもライトエルボにて立上げ、立下げが必要です。

給水管引込工事（開発） <記入例>

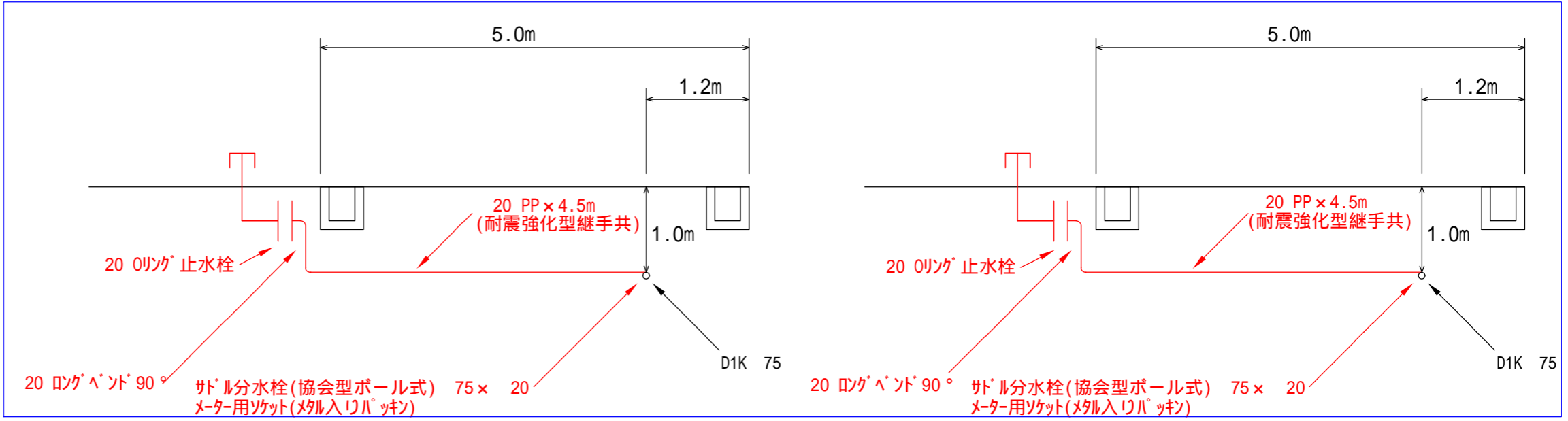
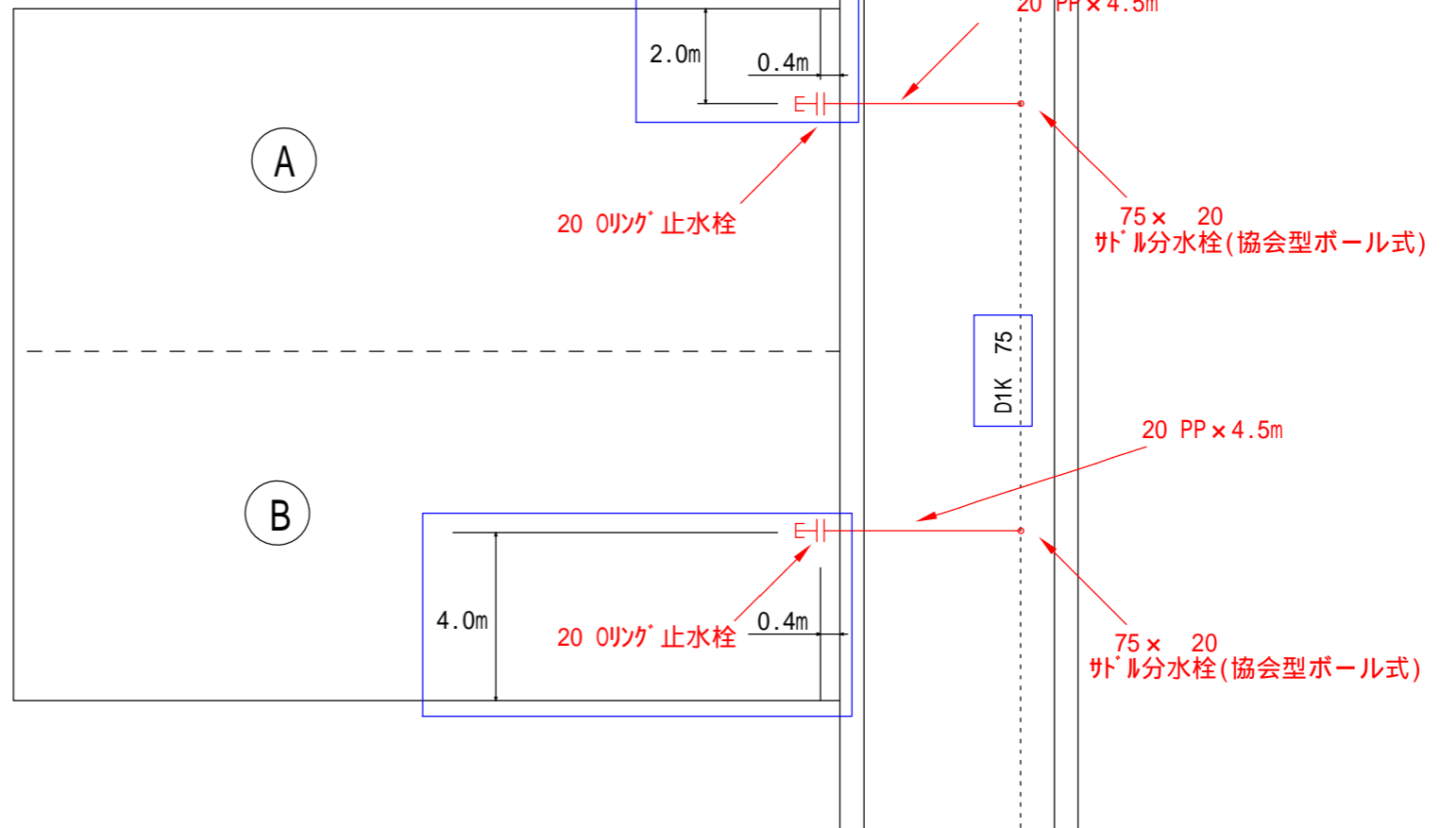
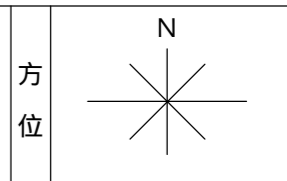
給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉔
水栓 共用管 番号 ㉑	12345	指定業者 ㉑ 上水道設備㈱
給水引込		主任技術者 ㉑ 上水道 太郎
縮尺 ㉑ 1:	図番 ㉑ 1/1	工事場所 ㉑ 和泉市 町五丁目4番11号

主要使用材料		
名称 ㉑	寸法	数量
サドル分水栓(協会型ボール式)	75 × 20	2
ポリエチレン二層管 (耐震強化型継手共)	20	9.0
ロングバンド90°	20	2
リング止水栓	20	2
止水栓ボックス	H=400	2
HIVP	20	1.0
HIVPエルボ	20	2
HIVPキャップ	20	2
メーター用ソケット	20	2
明示杭		2
明示ピン		2

(配水管分岐から第一止水栓まで)

- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉓ 図面番号を記入(例：図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉔ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉕ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉖ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の住所又は地番を記入
- ㉘ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要)

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - -
貯水槽以下	緑	———

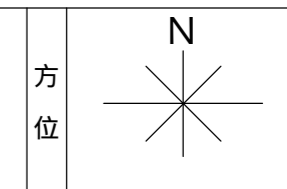


- 記入漏れの多い項目
- 第一止水栓のオフセット
- 道路の記入(特に角地)
- 配水本管の管種管径
- 給水の引込の場合は断面図

止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm以上確保すること。
ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。

一般用給水工事（臨時用給水からの改造） <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)			部屋(宅地)番号 ①
			指定業者 ⑤ 上水道設備(株)
水栓 共用管 番号 ② 12345 給水引込		主任技術者 ⑥ 上水道 太郎	
縮尺 ③ 1: 図番 ④ 1/1		工事場所 ⑦ 和泉市 町五丁目4番11号	



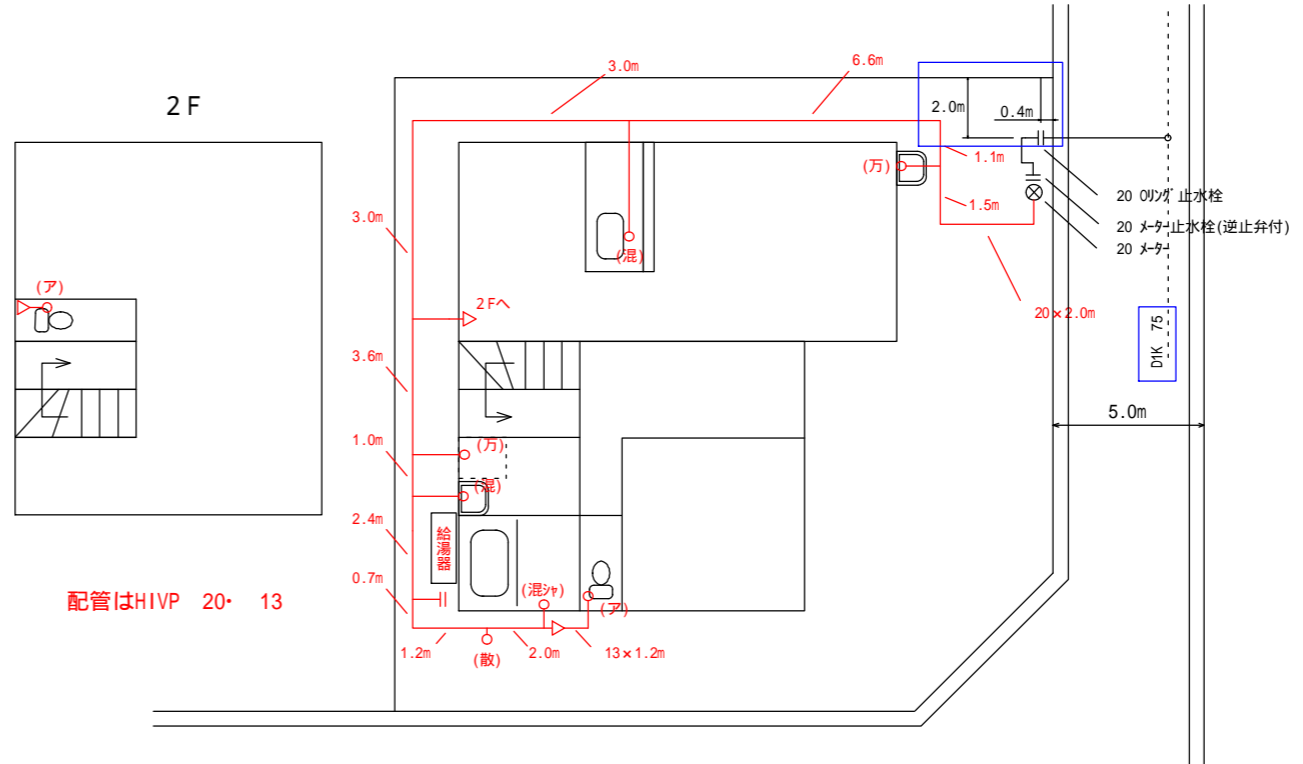
管の色分け

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	—————
既設給水管	黒(実線)	—————
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////////
既設配水管	黒(破線)	- - - - -
貯水槽以下	緑	—————

主要使用材料		
名称 ⑧	寸法	数量
HIVP	20	26.6
"	13	20.0
HIVPソケット	20x 13	1
万能水栓	13	2
混合水栓	13	2
シャワー水栓	13	1
アングル型止水栓	13	2
水栓コンセント	13	1

(メーター2次側から給水装置末端まで)

- ① 水栓番号、共用管番号、給水引込番号
がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ② 縮尺を記入
- ③ 図面番号を記入
(例：図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ④ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号が
ある場合は記入
- ⑤ 指定給水装置工事事業者名を記入
(代表者などは記入しないこと)
- ⑥ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ⑦ 工事場所の住所又は地番を記入
- ⑧ 使用材料を記入
メーターより2次側の配管継手
(エルボやソケット)は記入不要

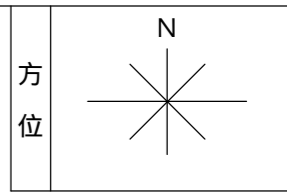


- 記入漏れや間違いやすい項目
- 第一止水栓のオフセット
- 間取り(文字)を記入しない
- 道路の記入(特に角地)
- 配水本管の管種管径
- 立面図は記入不要

配水管等布設工事 <記入例>

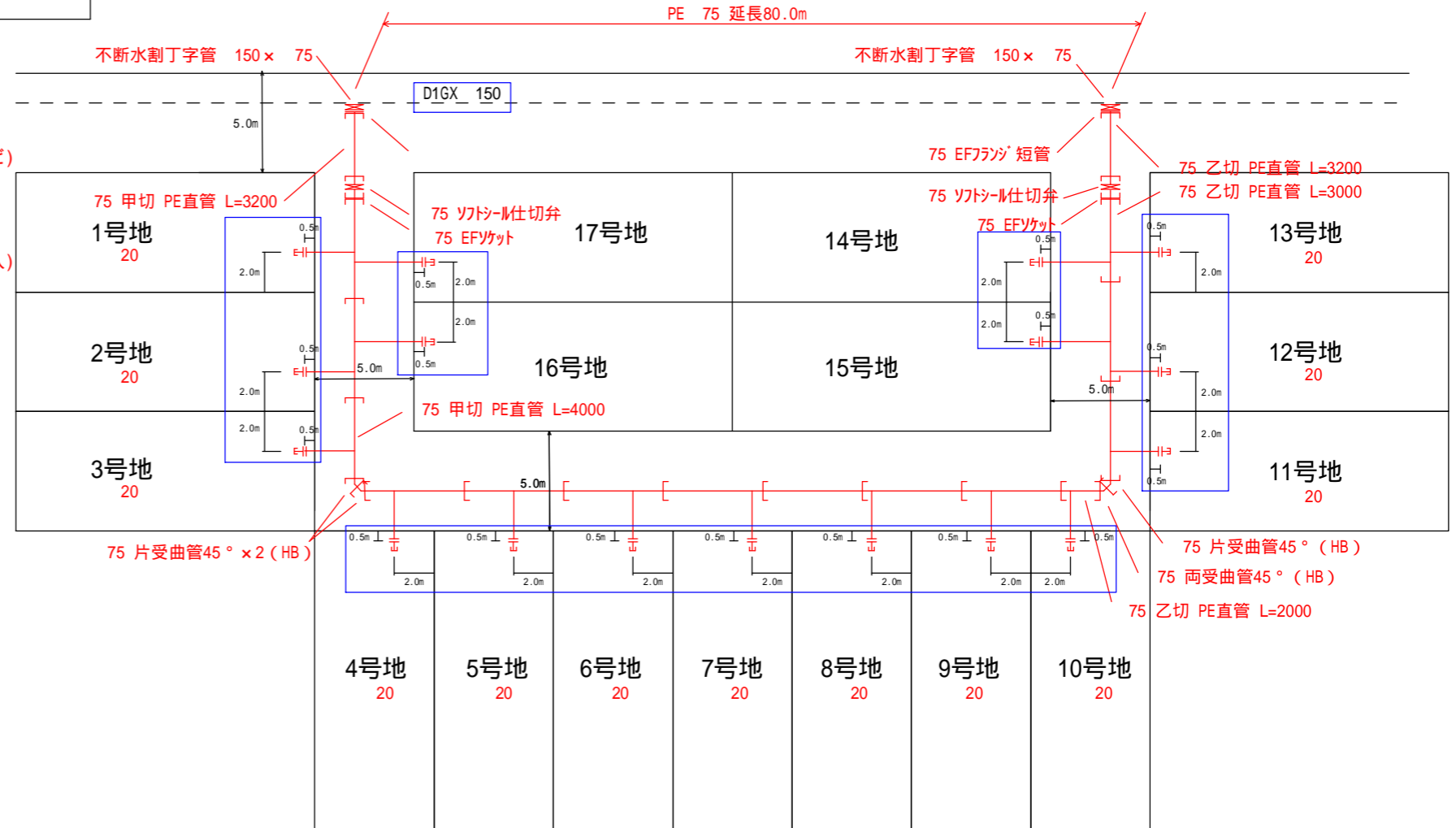
給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号 ㉔
水栓 共用管 番号 ㉑	9999	指定業者 ㉕ 上水道設備(株)
給水引込 縮尺 ㉒ 1:	図番 ㉓ 1/1	主任技術者 ㉖ 上水道 太郎
		工事場所 ㉗ 和泉市 町五丁目4番11号

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	—————
既設給水管	黒(実線)	—————
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	///////
既設配水管	黒(破線)	- - - - -
貯水槽以下	緑	—————



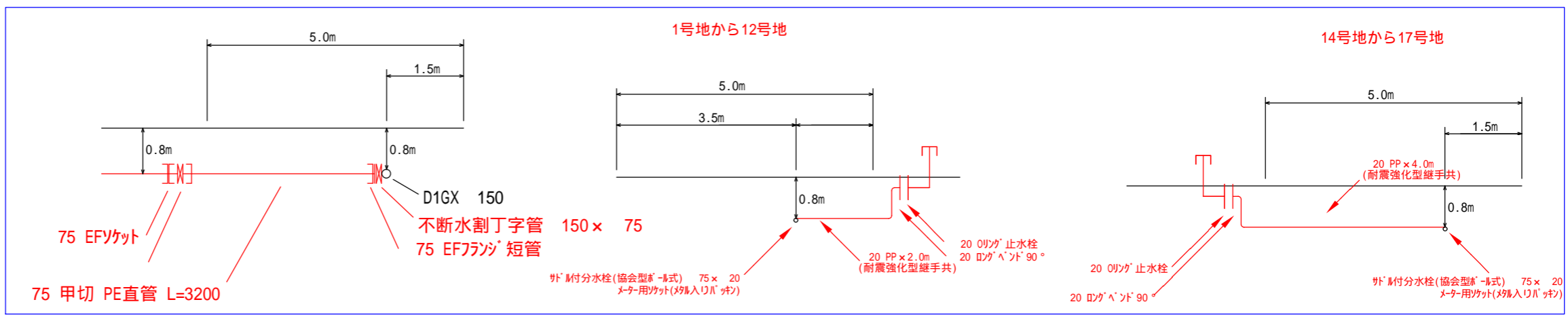
主要使用材料		
名称 ㉙	寸法	数量
不断水割T字管	150 x 75	2
EFフランジ短管	75	2
水道配水用ポリエチレン管	75	72.4
ソフトシール仕切弁	75	2
EFソケット	20	2
片受曲管45°	20	3
両受曲管45°	20	1
サドル分水栓(協会型ボール式)	75 x 20	17
メーター用ソケット	20	17
ポリエチレン二層管(耐震強化型継手共)	20	40.0
ロングバンド90°	20	17
Oリング止水栓	20	17
止水栓ボックス	H=400	17
HIVP	20	17.0
HIVPエルボ	20	17
HIVPキャップ	20	17
明示杭		17
明示ピン		17
エコ埋設標示アルタンシート		72.4

- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉓ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉔ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉕ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉖ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉗ 工事場所の住所又は地番を記入
- ㉙ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要)



記入漏れの多い項目
第一止水栓のオフセット
道路の記入(特に角地)
配水本管の管種管径
給水の引込の場合は断面図

止水栓ボックスの底板は、レンガ又はブロックを敷設すること。
既設配水管が深い場合は、必要に応じて90°エルボ等の金属継手を使用し、立ち上げること。
公道部分での給水管埋設深さは、管上で600mm以上確保すること。
ただし、道路管理者の指示がある場合は、それに従うこと。
ポリエチレン管に使用する金属継手はすべて耐震強化型(WSA B 011 適合品)とすること。
引込管は本管及び接する道路に対して垂直に布設すること。
布設延長を記入すること。(管径 75mm以上に限る)

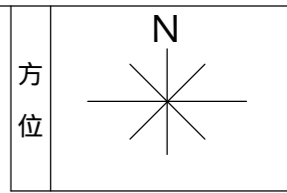


共同住宅等
共用管布設 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号	④ 共用管
水栓 共用管 番号		指定業者	⑤ 上水道設備㈱
給水引込		主任技術者	⑥ 上水道 太郎
縮尺	⑦ 1:250	工事場所	⑧ 和泉市 町五丁目4番11号
図番	⑨ 1/3		

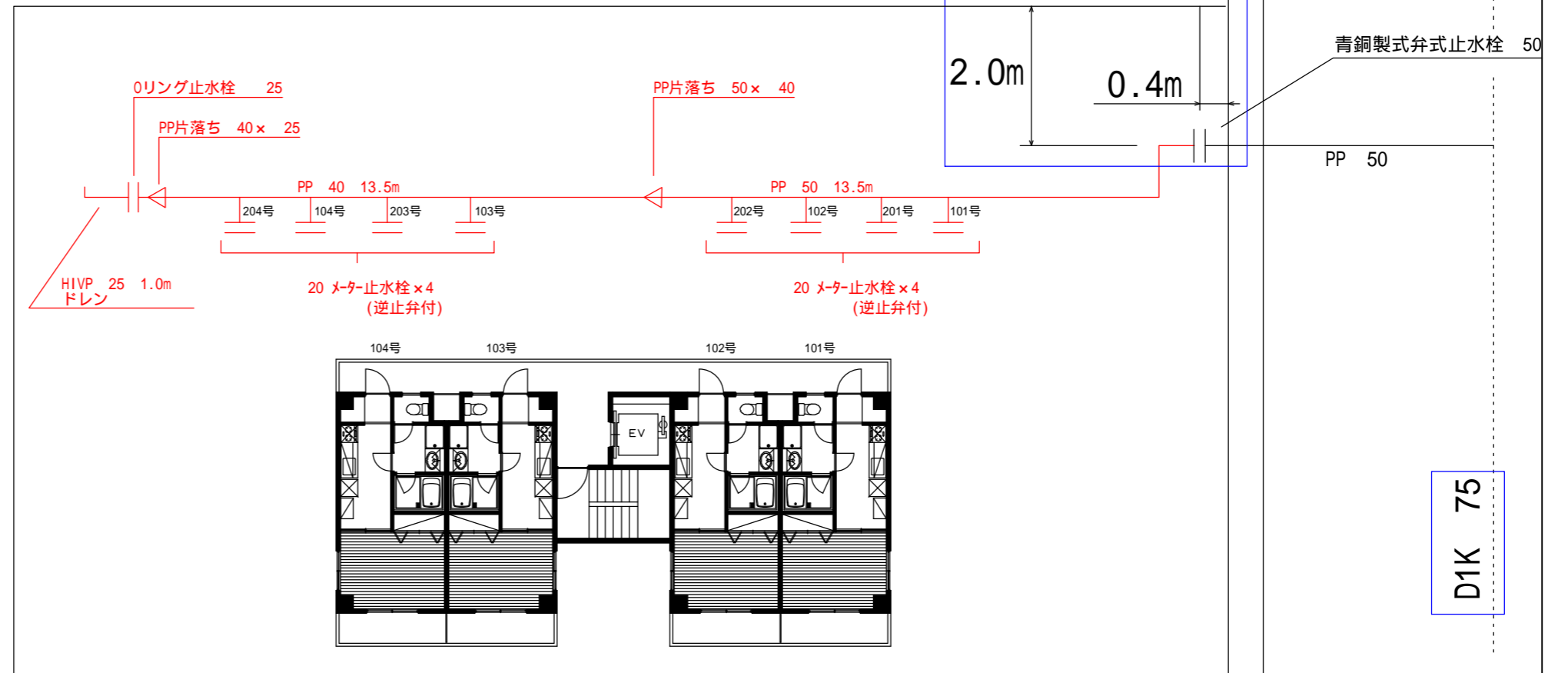
管の色分け

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	———
既設給水管	黒(実線)	———
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - -
貯水槽以下	緑	———



(第1止水栓から給水装置末端まで)

主要使用材料		
名称	寸法	数量
青銅製仕切弁式止水栓	50	2.0
ポリエチレン二層管	50	13.5
ポリエチレン二層管	40	13.5
ポリエチレン二層管	25	1.0
ポリエチレン二層管	20	3
PPエルボ(耐震強化型)	50	2
PPチーズ(耐震強化型)	50×20	4
PPチーズ(耐震強化型)	40×20	4
PP片落ち(耐震強化型)	50×40	1
PP片落ち(耐震強化型)	40×25	1
Oリング止水栓	25	1
止水栓ボックス	H=400	1
HIVP	25	1.0
メーターボックス	20	8
メーターボックス底板		8
メーター止水栓(逆止弁付)	20	8
ライトエルボ	20	16



- ① 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ② 縮尺を記入
- ③ 図面番号を記入(例: 図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ④ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ⑤ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ⑥ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ⑦ 工事場所の住所又は地番を記入
- ⑧ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要)

記入漏れや間違いやすい項目
第一止水栓のオフセット
道路の記入(特に角地)
配水本管の管種管径
立面図は記入不要

共用管の埋設深さは、管上で300mm以上確保すること。

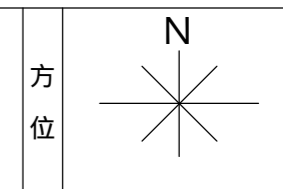
共同住宅等1敷地内に複数のメータを設置される場合はメータ管理票を提出いただきます。

共同住宅等
共用管布設 <記入例>

給水装置工事設計書 (配管図及び材料表)		部屋(宅地)番号	㉔ 201号~204号
水栓 共用管 番号 ㉑ 4326~4329 給水引込		指定業者	㉑ 上水道設備㈱
縮尺	㉒ 1:250	主任技術者	㉒ 上水道 太郎
図番	㉓ 3/3	工事場所	㉓ 和泉市 町五丁目4番11号

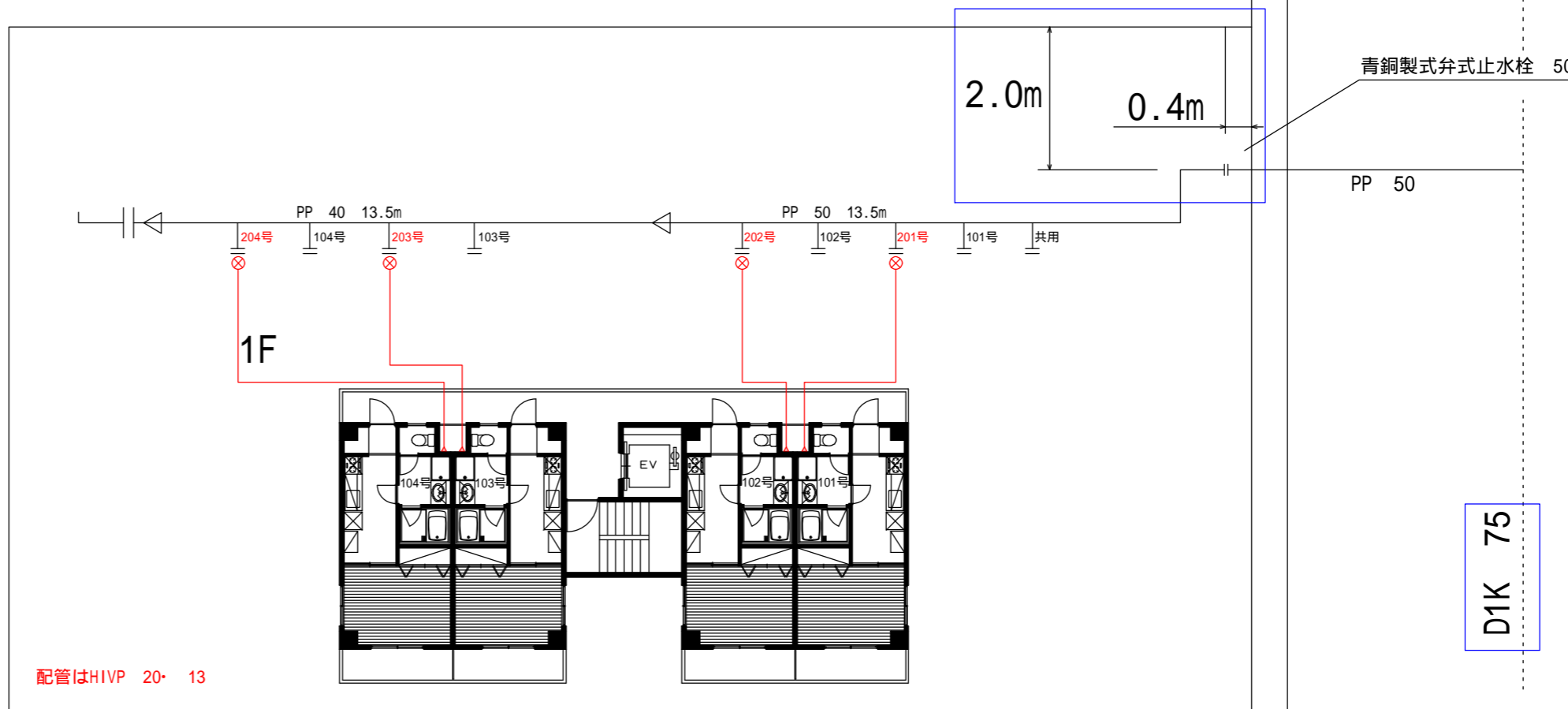
管の色分け

名称	色(線種)	凡例
新設給水管	赤(実線)	—————
既設給水管	黒(実線)	—————
撤去給水管	黒(実線の上に赤ハッチ)	//////
既設配水管	黒(破線)	- - - - -
貯水槽以下	緑	—————



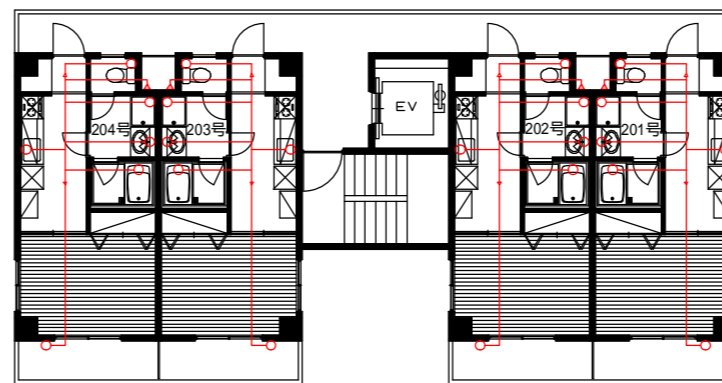
主要使用材料		
名称	寸法	数量
HIVP	20	85.0
"	13	107.0
HIVPソケット	20 x 13	8
コン柱	13 x 900	1
混合水栓	13	8
シャワー水栓	13	4
アングル型止水栓	13	4
水栓コンセント	13	4

(第1止水栓から給水装置末端まで)



配管はHIVP 20・13

2F



- ㉑ 水栓番号、共用管番号、給水引込番号がある場合は記入(既設水栓権利がある場合など)
- ㉒ 縮尺を記入
- ㉓ 図面番号を記入(例：図面が3枚ある場合は1/3、2/3、3/3と記入)
- ㉔ 共同住宅や開発地など、部屋番号や宅地番号がある場合は記入
- ㉑ 指定給水装置工事事業者名を記入(代表者などは記入しないこと)
- ㉒ 選任の給水装置工事主任技術者を記入
- ㉓ 工事場所の住所又は地番を記入
- ㉔ 使用材料を記入(メーターより2次側の配管継手(エルボやソケット)は記入不要)

記入漏れや間違いやすい項目
第一止水栓のオフセット
道路の記入(特に角地)
配水本管の管種管径
立面図は記入不要

直結止水栓にプレート札を針金で付け、部屋番号等を示すこと。

共同住宅等1敷地内に複数のメータを設置される場合はメータ管理票を提出いただきます。